

長久手町文化の家
NAGAKUTE Cultural Center

フレンズ

No. 28

2006年5月15日発行

機関紙フレンズ編集部

Tel : 0561(61)3411



第8回フレンズ
総会であいさ
つされる
川上實館長

活動の充実をめざします

フレンズ第8回総会 発足10周年に 向けて

桜が満開の

4月8日の夜、

文化の家舞踊
室でフレンズ

第8回総会が行われました。

文化の家川上實館長が「フレンズは文化の家にとって、れっきとしたパートナー、お礼というより敬意を表して、まず『ありがとう』とございます」と申し上げたい」とあいさつされ、「文化の家が、この8年間町の文化マスタープランに沿って、さまざまな事業を展開する中で、住民参加・参画を計ってきたが、フレンズの活動もまさにその

一端を担うてきたといえる。

昨年の愛知万博でのボランティア活動



総会を終えて楽しいミニコンサート風景

で得た経験を活かして、さらに今後のフレンズの活動が長久手の『芸術の門の扉を開ける力』となるよう期待しています」と結ばれました。

総会は、水野会長を議長に選出し、2005年度活動報告・会計報告、2006年度活動計画案・予算案を審議し、いずれも承認されました。

8年目を迎えて、当日運営部・機関紙部・事業部・研修部それぞれの活動をより活発に、より明確にするための改善をめぐり、新年度の役員を選出して発足10周年に向けての序奏が始まりました。

恒例となった総会後のミニコンサートは、地元で活躍中の「pipoclassic」が演奏してくださいました。

このミニコンサートをお目当てに総会に参加される方も結構いらっやうって、文化ホールのボランティアならではの企画だ」と、楽しんでいただいています。クラシックから現代音楽まで、10曲ほど演奏されたフルートやピアノの音色で、一日の疲れも癒されるような心地よい時間を過ごした参加者は、演奏の終わったあととも温かいお茶のもてなしで、ゆっくりに交流を楽しんでいました。

2006年度フレンズ役員

会 長	水野美々子
副 会 長	梅田小夜（事業部長）
副 会 長	福岡八重子（研修部長）
会 計	山口節子（事務局長）
	青山つた系（当日運営部長）
	岩瀬信廣（機関紙部長）
	鈴木多恵子（当日運営部）
	阪上由美子（事業部）
	瀬川典子（研修部）
会計監査	鈴木禮子
会計監査	山田高司（文化の家職員）



職員の異動による 文化の家 新しい顔ぶれです

フレンズ会員の皆さんよろしく文化の家のために力を合わせて

事務局長を務めます

よろしく願います



事務局長
藤井義修

このたび文化の家事務局長を務めさせていただくことになりました藤井義修です。

文化の家に務めはじめ3年目を迎えました。私自身、以前はコンサートに行ったりすることはありましたが、楽しむ側から、楽しんでいただく側になるとは夢にも思いませんでした。フレンズ会員の皆さんには、今後とも文化の家のいろいろな事業に参加して楽しんでいただくとともに、多くのご意見を聞かせていただき、お力添えいただくよう、よろしく願っています。

地域文化の推進に向けて

皆さんとともに



主 幹
山田高司

安心安全課から、4月の人事異動で文化の家に配属されました山田高司です。

文化の家へは「棒の手」の演技披露のために来たことはありますが、それ以外は、文化、芸術とは無縁でありました。私は、「地域に生きる」という言葉と「出会いを求めて出会いに感謝」という言葉が大好きです。今後は、新しい出会いを求めて、地域文化の推進に向けて皆さんとともに、がんばってまいります。ぜひとも、ご意見をお聞かせください。

文化の家が

皆さんのわが家に



管理係長
伊藤正尚

なんでも町政サロン室から、4月の人事異動で文化の家に配属されました伊藤正尚です。

今までは「広報長久手」の編集・発行に携わり、取材でたびたび文化の家を訪れていました。が、これからは「文化の家」が仕事場となりました。利用者の皆さんに、文化の家を「わが家」と思ってもらえるような雰囲気づくりができればいいなと思っていますので、よろしく願っています。趣味は、音楽鑑賞、演奏、読書、ゴルフです。

新しい職場で

気持ちをリセットして

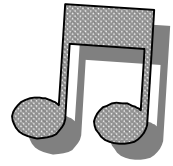


職 員
山田幸弘

このたび、36年間勤務した職場を退職し、4月1日から文化の家で嘱託として、引き続き働くことになりました山田幸弘です。役場生活を振り返ってみますと大変であったことが数々思い出されます。諺にもあるように「光陰矢のごとし」であり、一日を大切に生きなければならぬというのが、現在の偽らざる心境であります。

新しい職場では、気持ちを一旦リセットして、早く環境に慣れ、頑張っていきたいと思っておりますので、ご指導よろしく願っています。

当日 運営部



を常に思い浮かべて行動にも注意を払います。

新年度に入って、新しいスタッフも加入されました。経験者も初心を忘れずにシアターマネジメントなどの勉強を行い、楽しく有意義なボランティア活動をめざします。

当日運営部は公演を楽しみに「文化の家」にいられた観客の皆さんが、楽しく満足できるよう、ひとときのお手伝いをします。ボランティアといえどもプロ意識のもと活動します。マナーの5原則（挨拶・表情・態度・身だしなみ・言葉づかい）

スタッフの皆さんには3ヶ月ごとに「当日スタッフの登録用紙」をお送りし、予定を組んでスタッフ活動に参加していただいています。よろしくご協力をお願いします。

研修部



と、園内での手作りソーセイジを予定（すでに募集人員に達したため締め切らせていただきました）。

研修部では会員の親睦をはかるために年1回の町外研修と、数回のミニ講座を行なっています。いままでに可児市・扶桑町・知立市のボランティア団体との交流・施設見学と周辺の観光施設めぐり、表情筋トレーニング講座などを行いました。

また、スタッフ向けの講座としては、文化の家川上館長のご案内で愛知県陶磁資料館の見学、お茶の入れ方講座、デューク更家のビデオ使用のウォーキング講座などを行なってきました。

今年には安城デンパークの見学

今年も楽しい講座を企画したいと思います。皆さんも参加してみませんか。

フレンズ各専門部はこんな仕事をしています



機関紙作りを学ぶ



町外へ楽しく研修

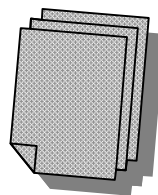


実行委員会の様子



ホールスタッフの活躍

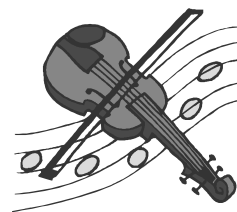
機関紙部



機関紙部は、年に3回の「フレンズ機関紙本紙」と、年に3回ほどの「ミニフレンズ」の発行を計画しています。

機関紙は、会員の皆さんに「長久手町文化の家」と「フレンズ」の事業などについてよく知って

また、機関紙作りを通して、文章書きや写真について学び、パソコンの技術も身につけることをめざします。文章や写真、パソコン（主にword）に興味のある方、機関紙作りの輪に加わってみませんか。



事業部

文化を育み、文化を楽しみ、そして参加する喜びを得られるのがフレンズスタッフです。その中で事業部は年2回のフレンズ主催の公演を企画し運営するのがメインの活動と

なっています。今年8月の「フレンズのついで part.15」は津軽三味線と民謡のコラボレーションで、大変魅力ある内容と自負しています。こういった自主企画についてはすべて実行委員が出演交渉から、各段取り、ポスター、チラシ作り、チケット販売などの作業をします。このために公演ごとに実行委員会を作り運営しています。興味がある方はぜひ実行委員会に参加し運営する喜びを味わってください。

魅力ある催しがいっぱい

主な催しをピックアップしてご紹介します

日本舞踊へのいざない

～みんなで創る日本舞踊ワークショップ～

日本舞踊西川流師範 西川まさ子さん によるワークショップ
鑑賞するだけでなく、基礎講座・衣装体験などを通じ日本舞踊
の楽しさを体験できます

6月10日(土) 15:00開演 14:30開場

森のホール

参加料 一般500円 高校生以下無料(要整理券)

長久手町文化の家 羽ばたきコンサート 新しい波2006

炸裂 ブラームス

7月2日(日) 15:00開演 14:30開場

風のホール 全自由席

曲目 ブラームス:ピアノ五重奏曲 ハンガリー舞曲ほか

前売 一般1,000円 フレンズ900円 学生500円

当日 一般・フレンズ 1,300円 学生800円

フレンズのつどい Part.15

津軽三味線と民謡のライブ

感動の和の響き

とき : 8月6日(日)16:30開演 16:00開場

ところ : 文化の家 森のホール

出演 津軽三味線:雷神(西はじめ 廣原武美)

民謡:山口民規衣

太鼓:山口晃司

特別出演:三味線 夢弦塾 (長久手町)

入場料 前売り フレンズ 1,400円

一般 1,800円

当日 一般・フレンズとも 2,000円



編集者コラム

今年こそ桜前線を追って、納得いく写真をも
のにするぞと意気込んでいたのに、気がついて
みると、もう葉桜から新緑の季節だ。

仕事はリタイアしたものの、あれこれボラン
ティアに忙しい。忙しすぎるくらいだが、おかげ
で多くの人と知り合い、交友も広がる。

かげの効用として、旅行もままならないから
乏しい財布が助かっている。

(い)

友人・お知り合いを誘ってご参加を!

フレンズ会員ならではの特典を伝えて、
フレンズへの入会呼びかけもぜひ!

長久手こども劇場

ブラックライトシアター大型人形劇

エリック・カールの「はらぺこあおむし」

カナダの劇団によるブラックライトを使った大型人形劇

7月26日(水) 16:00開演 15:30開場

森のホール

前売・当日共通 一般1,500円 フレンズ1,300円

こども(中学生以下)500円

長久手町文化の家開館8周年記念事業

音楽座ミュージカル

泣かないで

遠藤周作著 / 「わたしが・棄てた・女」より

7月30日(日) 14:00開演 13:30開場

森のホール

指定席 一般5,000円 フレンズ4,500円

自由席 一般・フレンズ 2,000円

新しい境地へ

ほっと
すぺーす

名東区在住 M

友人に誘われフレンズに入会しました。文化の家の情報が手元に届くようになり、入会後はたびたび足を運びます。先日、長久手誕生100周年を記念して、4月12日に開催された「佐渡裕指揮・兵庫芸術文化センター管弦楽団」のコンサートにでかけました。

正直言ってフルオーケストラの、しかもベートーヴェンとか、ブラームスの交響曲を生演奏で聴くのは初めての経験です。堅苦しいのではないかと、難しいのではないかと一抹の不安はありましたが、演奏が始まると佐渡裕さんの全身からエネルギー

ギーがほとばしるような指揮ぶり、大編成のオーケストラの一系列乱れぬ演奏に、思わず引き込まれていました。

予定の2曲に加え、アンコール曲を聴き終えて、私の胸に広がったのは「すごい!」「良かった」というストレートな感激です。クラシック音楽を専門的に理解できないまでも、とにかく感動しました。

フレンズに入会したことで、今までほとんど無縁であった世界に触れる機会ができたことを、本当に良かったと喜んでいきます。